

教育研究上の目的（学部）

工学部	工学部は、機械工学科、電気工学科及び応用化学科における教育研究を通じて、「工学」と「理学」の融合を目指した独創的かつ先進的な取り組みを行い、社会に役立つ工学を開拓できる専門及び応用知識の探求、先進技術及び工学に応用できる実験技術の教授を通じて、人間や自然・環境を意識して問題を解決できる能力、自己表現力や情報解析能力を高め、世界的視野で物事を思考できる人間性豊かな科学技術者を育成する。
機械工学科	機械工学科は、人類社会の永続的な発展に貢献する機械構造物に係る教育・研究と専門技術者・研究者の育成をその目的とする。この使命・目的を達成するため、自然科学・コンピュータ技術を基礎として機械力学、材料力学、流体力学、熱力学、制御工学を専門とした教育・研究を行い、豊かな表現力、高度な技術力・技術者倫理を身に付け、社会の発展に有用な機械制御システムを開発できる応用力・創造力を有する人材を育成する。
電気工学科	電気工学科は、豊かな社会生活を築き、人類の発展を支える中核技術である、エレクトロニクス、エネルギー、情報通信に係る教育・研究と専門技術者・研究者の育成をその目的とする。この使命・目的を達成するため、電気工学、電子工学、情報科学を専門とした教育・研究を行い、システム化した思考と応用・実践力を身に付け、豊かな国際感覚と高い技術者倫理を備え、社会の要求を解決するためのデザイン能力を有する人材を育成する。
応用化学科	応用化学科は、理学と工学の幅広い知識と技術を基盤とし、物質と環境に視点を置いた教育研究を通して、人々が安心して安全に生活ができる社会の持続的構築に貢献する。この使命・目的を達成するため、化学を基軸として物理学や生物学の関連分野及びそれらの学際領域において、自然真理の探求から応用技術の創出にわたる先導的研究を遂行すると共に、物質・材料・環境・生命の分野に関連する総合的知識、問題発見・解決力と表現力、技術者倫理を備えた国際感覚豊かな科学技術者を育成する。

教育研究上の目的 (大学院)

工学研究科	<p>修士課程は、科学技術が理学と工学の各分野が相互に関連し合って進歩を遂げている状況を踏まえて、理学と工学分野を横断的な視点で捉えた研究・教育を行い、多様な専門性を要求される業務に必要な研究能力及び学識と共に、技術者及び研究者に要求される倫理や常識を身につけ、それぞれの分野で個性と創造性を発揮できる人材を育成し、よって科学技術の発展に寄与することを目的とします。</p> <p>博士後期課程は、高度に専門的な業務に必要な研究能力とその基礎となる豊かな学識を備え、技術開発と研究に従事する専門家として世界的水準で活躍できる人材を育成し、科学技術の進展に寄与することを目的とします。</p>
工学専攻	<p>工学専攻は、理学と工学を相補的に調和・融合させ、機械・制御工学、電気・電子工学、情報科学、物質科学、有機・生物化学の分野を統合し、幅広い視点で機械・制御、電気・電子・情報、物質・材料の専門分野を展望しながら、複雑化・多様化する科学技術の諸問題を工学の視点から探求し、時代の要請に豊かな発想で対応できる人材の養成を目指します。</p>